

事業名

地域企業による「地域NPO支援」プロジェクト

評価項目

No	項目	記入欄 内容が分かるように、 <u>200 字以上～300 字以内</u> で簡潔にまとめて記載してください。	自己採点
1	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO対象講座参加団体 30 以上。 →31 団体 ● 「マッチングワークショップ」参加者、NPO、企業あわせて 50 組以上 →69 団体 ● NPOと企業の協働事例 10 件以上 →6 件 ● プロボノの事例 10 件以上 →1 件 ● 「すぎなみNPOフェスタ 2012」への出展や寄附による企業参加を 20 社以上増やす。 →NP023→34 企業 15→11 合計増減数 6 団体 ● NPO対象・企業対象講座では、それぞれアンケートの評価を 5 段階で 3 以上 7 割を目指す。 →7 割以上の成果 ● 「高円寺阿波踊り」(障害者支援)への企業社員ボランティア参加を 10 名以上集める。 →4 名 	3
2	市民性	<p>協議会が主催した講座 (1 回)、講演会 (1 回)、交流会 (全 5 回) に対して、105 団体、172 名 (延人数 226 名) の方にご参加頂きました。その内 NPO の参加は 34 団体 67 名 (述べ 92 名) でした。杉並区内の任意団体等も含む NPO 等として約 300 団体あり、全体の約 10% の団体に参加いただいた計算になります。</p> <p>参加団体からの評価は交流会アンケート等から「定期的な情報提供」「定期的な交流会の開催」を望む声が上がっており、概ね良い評価を得られました。</p> <p>しかし、まだまだリーチできていない団体もありますのでその分のマイナス評価を含めた点数とします。</p>	4
3	波及効果	<p>中間支援組織として事業をスタートする際の、事業フェーズの考え方、データベース利用、IT 利用の部分をモデル化することで、他団体が活用できるものになっています。特に事業フェーズに関しては、事業をスタートすることでわかったことが多く、どこに注力するか? という判断基準を提供できる点が評価できる点です。また、データベース、IT 等の利用についても、最低限のリテラシーを有する人にも簡単に利用できる手法を簡単に提供できます。</p>	4

新しい公共の場づくりのためのモデル事業 自己評価シート

4	継続性	<p>今回作ったデータベースを基に、25 年度中は交流会を継続させます。協議会の主催イベントには、全5回、述べ226名の参加者があり、それぞれのイベントは有料で開催していましたので、ある程度の収入めどはついていきます。また他団体との協働交流会や、交流会支援等も含めた形で展開していきます。</p> <p>その他の IT 利用や広報支援についても、独自に講習会等を開催することで継続可能です。</p> <p>最終的にはマッチングに関するコンサルティングフィーを貰う形で進めます。</p>	3
5	マルチステークホルダー・プロセス	<p>本事業を進める上で、中小企業、区内NPOの参加が最大のポイントでした。そういった状況の中で協議会が有ることで、いろいろな方面にお声がけできたことで一定数の参加があり、そこは評価される点です。また、交流会等の主催するイベントへの協議体メンバーからの助言や、事業運営に関するチェック機能が働いたことも評価できる点です。</p> <p>イベント会場の手配に関しても各団体の協力により、滞り無く確保できました。</p> <p>何より優秀な団体に参加いただき、一丸となって進められたことで、企業・NPO に対して協議体の説明がやりやすかったのも大きな評価ポイントとなります。</p>	3

合計点

17

ランク

A